

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 心房細動アブレーション後の再発率と抗凝固薬との関連性の検討

研究の目的

心房細動の合併症として、脳梗塞を始めとした血栓塞栓症があり、その予防には経口抗凝固薬が使用されます。現在、使用されている経口抗凝固薬のうち、第 Xa 因子阻害剤には血栓塞栓症の予防だけでなく、心筋の線維化を防ぐ可能性も指摘されています。それはつまり、心房細動を始めとした不整脈の発生もしくは再発を防ぐ可能性があるということです。しかしながら、これまで心房細動アブレーション後の経口抗凝固薬間での治療成績の差は不明です。そこで、本研究では心房細動アブレーション後の経口抗凝固薬間における心房細動再発率の差異を検討することを目的としております。

研究実施期間： 2023 年 6 月 6 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

対象となる方： 2014 年 1 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日までの期間に、弘前大学附属病院循環器内科で心房細動に対するカテーテルアブレーションを受けた患者連続 1914 名。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、心房細動に対するカテーテルアブレーション後から 1 年間の心房室性不整脈の再発の有無、抗凝固薬の使用の有無、合併症等について、標記研究課題実施のために利用します。具体的には、カテーテルアブレーション後に使用された抗凝固薬と心房性不整脈の再発率について、統計解析的手法を用いてその関連性を見出すことで、心房細動の治療の発展に寄与することを目的とします。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

循環器腎臓内科学講座・和島将太 h20gm115@hirosaki-u.ac.jp